

(表紙)

平成 29 年度

「校長経営戦略支援予算配付申請書」

大阪市立十三中学校

校長 森 健

平成 29 年 4 月

申請受付日
指導部で記入 →
/

【様式 1】

(所属(市費)コード 642390)

大阪市立十三学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

これまででも安心・安全宣言を掲げ、信頼される学校づくりに取り組んできた。道徳心・社会性の面でも、職員が、自己肯定感を持つ生徒が増加しつつあると感じており、さまざまな教育活動の一層の充実を図る。一方、全国学力・学習状況調査（以下、「学力調査」と表す）やチャレンジテストにおいて、本校の各項目平均正答率は大阪府の平均にも及ばず、学力の向上が課題である。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査（以下、「体力調査」と表す）においても、部活動や各種の積極的な取組により全国平均を上回る種目も出てきていますが、さらなる伸びしろがあり、体力の向上をめざす中で安心できる学校づくりにも貢献できるものと考えている。生徒の学習環境や意欲は向上しつつあり、校内施策の充実を図ることにより、結果に結びつけることが必要である。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 33 年度の学力調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を、9割5分以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 33 年度の学力調査における活用に関する問題の正答率 8割以上の生徒の割合を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。

3 中期目標の達成に向けた年度目標 (全市共通目標を含む) ※運営に関する計画再掲

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 平成 29 年度の校内調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 91%以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- 今年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を年度当初よりも増加させる。
- 今年度末の校内調査における「学校外で暴力を受けたことがありますか」の項目について、挙がった事案に対して的確に対応した割合を95%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 平成29年度のチャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと)
- 平成29年度のチャレンジテストにおける正答率3割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- 平成29年度のチャレンジテストにおける正答率8割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
- 平成29年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、年度当初より増加させる。
- 平成29年度の体力調査において、特に課題である「50m走」の平均の記録を、前年度より0.05ポイント向上させる。[28年度 男子8.10 女子9.02]

学校の年度目標

- 中学校3年生での英検3・4級程度の英語力を有する生徒の割合を昨年度以上にする。
[28年度 92.4%]
- 平成29年度の体力調査における体力合計点を前年度以上にする。[28年度 男子41.15 女子46.03]
- 年度末における部活動入部率を85%以上で維持する。

【以下 淀川区役所連携事項】

- 学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。
[28年度 「寝る」76.2% 「起きる」95.4%]
- 年度末校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。

4 28年度の自己評価結果の総括 ※28年度の運営に関する計画再掲

本年度の学校運営全体を通して、安定した教育活動を展開することができた。生徒の生活面において個別の課題は種々あるものの、学校総体としては落ち着いた状態を維持することができた。学力の向上については、昨年に引き続き全生徒に毎日宿題を課す、エブリディ・ホームワークの実施をはじめ、「教科別『学習の進め方』一覧」の改訂・配

付、昨年度の生徒会が策定した「十三中学校授業のルール5か条」の検証など、生徒への働きかけを行ってきた。同時に、教員の授業力の向上をめざし、今年度は全教員の研究授業を学年単位で実施するなど、校内体制を整備してきた。このような様々な取組を実施し、一定の成果を上げたものと考えている。学力調査における直近数年間の平均正答率の向上といった具体的な成果も見られる。また、生徒の物事に取り組む姿勢も前向きになってきており、正門前にも掲げている「いっしょうけん命はかっこいい」をスローガンに、体育大会や文化祭など学校行事の質も高まっている。今後も継続した取組の中でさらなる成果につながることをめざす。

德育の推進に関しては、「いじめのない思いやりあふれる集団づくり」を目標に取組を進めている。残念ながらいじめ事案は発生するものの、即座に指導を行い、拡散したり、引きずることがないように対応している。今年度は総務省実施の「いじめ防止対策の推進に関する調査」に協力し、その分析と対応に努めている。また、服装や日常の行動面においてルールを守れるようきめ細かく指導を行いつつ、守れたクラスを表彰するなど自動的に規範意識を高める工夫をしている。

「健康・体力の保持増進」については、体力調査において、昨年よりも全国平均を上回る項目が半分あり、体育指導や部活動指導の成果が現れつつある。また、朝食の摂食率や睡眠時間の確保という問題については家庭の協力が不可欠であり、保護者への啓発を忍耐強く継続しているところであるが、同時に区の政策（ヨドネル）とのコラボレーションにより、例えば本校生徒の描いたポスターを区役所に掲示していただき市民への啓発を図るなど、その内容を具体化し、一段と効果的なものにする。

5 29年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

※シートが複数枚になってもさしつかえありません。

6 事業執行管理体制名簿

学校長	(森 健)
教頭	(吉田 直史)
学校事務職員	(西 めぐみ)

申請受付日
指導部で記入 → /

【様式 2 - 1】
(所属(市費)コード 6 4 2 3 9 0)

大阪市立十三中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【**基本配付**】配付申請書

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標	
○ 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 ○平成 29 年度の校内調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 91%以上にする。 ○平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 ○平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。	
【学校の年度目標】	
○今年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を年度当初よりも増加させる。 ○今年度末の校内調査における「学校外で暴力を受けたことがありますか」の項目について、挙がった事案に対して的確に対応した割合を 95%以上にする。	
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
全市共通目標	
○平成 29 年度のチャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。 (標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと) ○平成 29 年度のチャレンジテストにおける正答率 3 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。 ○平成 29 年度のチャレンジテストにおける正答率 8 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。 ○平成 29 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、年度当初より増加させる。 ○平成 29 年度の体力調査において、特に課題である「50m走」の平均の記録を、前年度より 0.05 ポイント向上させる。〔28 年度 男子 8.10 女子 9.02 〕	

学校の年度目標

- 中学校 3 年生での英検 3・4 級程度の英語力を有する生徒の割合を昨年度以上にする。[28 年度 92.4%]
- 平成 29 年度の体力調査における体力合計点を前年度以上にする。[28 年度 男子 41.15 女子 46.03]
- 年度末における部活動入部率を 85% 以上で維持する。

【以下 淀川区役所連携事項】

- 学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。[28 年度 「寝る」 76.2% 「起きる」 95.4%]
- 年度末校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○生徒の安全を確保するとともに、各種の運動用具・運動器具を導入し、体育大会をはじめ各種の学校行事に、室内オリンピックなどの楽しみながら体力向上をめざすことができる取組を積極的に取り入れる。</p>	
<p>指標</p> <p>体力調査において、全国平均を上回る種目を過半数にする。</p>	
<p>取組内容②【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○部活動への参加を促し、日常的な運動の機会を増加させることにより、基礎的な体力や運動能力の向上をめざす。</p>	
<p>指標</p> <p>部活動における退部者を 5% 以内に抑える。</p>	
<p>取組内容③【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○区役所の「子どもの睡眠習慣改善支援事業（ヨドネル）」とも連携を図りながら、遅刻を減らすよう日常的な生徒指導を継続して基本的生活習慣の確立をめざす。</p>	
<p>指標</p> <p>遅刻の年間総数を前年度以下に抑える。[28 年度 2 月 1,596 日]</p>	

取組内容④【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

- 小中連携図書貸し出し事業の実施
- 「読み聞かせ」の実施
- 図書室開館と自主学習センター機能の充実
(以上元気アップ事業と連携)

指標

学力調査において「1日に30分以上読書をする」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。[28年度 23.8%]

取組内容⑤【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- エブリディ・ホームワークの実施
- 家庭学習の調査と各家庭における意識づけの啓発

指標

宿題の提出率を前年度以上にする [28年度 90.4%]

28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組については概ね計画通り進めることができた。その結果、生活習慣の安定が見られるようになり、ひいては読書時間や学習時間など、生徒の学習意欲は着実に向上しつつある。これらが数値としての学力に反映されるまでには今しばらくかかりそうではあるが、次年度も引き続き見通しを持って取り組んでいく。

一方で、一面的ではあるが、生徒による教員の授業力評価は停滞気味となっている。学年単位の研究授業を実施し、総合的な授業力の向上に努めてきた。

概ね計画通り進めることができた。特に今年度、正門前の校舎壁面に「いっしうけん命はかっこいい」のスローガンを横断幕として掲げ、何事にも精一杯取り組む姿勢の大切さを前面に出して指導を行ってきた。その結果、さまざまな行事で関係者の方々から賞賛をいただけるようになってきた。またその他の取組にも派生的に成果が見られ、いじめについては早期発見・早期対応に努め、少数の発生件数にとどめている。一方、学校生活のあらゆる場面で、保護者の協力を求めるとともに、地域ボランティアの獲得に取り組み、読み聞かせや自主学習の援助、園芸活動など、子どもの学習意欲の向上や心の安定に努めている。

取組は概ね計画通り進行している。体力調査などの結果も徐々に向上してきており、一応目標を達成できた。生活習慣に関しては、区役所の施策を活用するなどの連携にも力を入れつつ取り組んできたが、遅刻については、すでに昨年度の数を越えてしまっており、目標を達成できなかった。まだまだ寒冷な季節が続くこともあり、さらに数が増えることが予想されるが、1件でも少なく抑えるため、子どもへの直接的な指導とともに保護者への啓発を実施する。

29年度への改善点

組織的な教職員研修はほぼ終了した。年度が変わればまた新たな教職員を迎えることとなるが、新しい風を入れながらさらに指導力の強化に努める。例年通り、今学期は1・2年生チャレンジテストが既に実施され、結果待ちの状態であるが、新年度4月にはまた、3年生の全国学力調査が実施される。生徒の学力向上とそれを支える教職員の指導力向上にさらに尽力するとともに、次年度を見据えた授業計画の再構築を行う。

全体的には年々良い方向へ向かっているが、さらに高い目標に向け改善を図る。ただ、家庭環境など、学校だけの取組では解決できない課題も多く、次年度も引き続いて関係機関と連携し、子どもにとって学習しやすい、生活しやすい環境を整えられるよう取り組むことによって、円滑に新年度をスタートさせ、軌道に乗せるよう努める。

ヨドネルの取組が加速しており、本校においてもより高い目標に向けた取組を模索する。ただし、これらの取組は家庭の協力が不可欠ながら、今後の改善を期待する家庭も少なくない。こども相談センターや子育て支援担当とも連携を図りながら家庭の教育力の向上に可能な限り取り組む。

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

【様式 2 - 2】

大阪市立十三中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】配付申請書

学校申請額 1,350,000 円

※配付上限額(※円単位)

学校配当	学級数	学級配当	特別支援学級数	学級配当
300,000	+	15	×	50,000

配付上限額

=	1,350,000
---	-----------

◆学校申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	学びサポーター 一経費	9-5 教職員 管内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費
	900,000					

12-4 手数料	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
		450,000				

合計

1,350,000

◆取組内容・予算内訳

取組内容⑤【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- エブリディ・ホームワークの実施
- 家庭学習の調査と各家庭における意識づけの啓発

()

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
学びサポーター経費	@900 円 × 5 h / 日 × 200 日 / 年	900,000

取組内容②【施策 3 道徳心・社会性の育成】

保護者・地域とのコミュニケーションの機会を充実させるとともに、物事に感動したり、他者を思いやることの大切さを実感する場面を創出する。

()

予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
委託料	芸術鑑賞	450,000

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

申請受付日
指導部で記入 → /

【様式 3-1】
(所属(市費)コード 6 4 2 3 9 0)

大阪市立十三中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 全市共通目標 <ul style="list-style-type: none">○ 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。○ 平成 29 年度の校内調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 91%以上にする。○ 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。○ 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。	
学校の年度目標 <ul style="list-style-type: none">○ 今年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を年度当初よりも増加させる。○ 今年度末の校内調査における「学校外で暴力を受けたことがありますか」の項目について、挙がった事案に対して的確に対応した割合を 95%以上にする。	
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標 <ul style="list-style-type: none">○ 平成 29 年度のチャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。 (標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと)○ 平成 29 年度のチャレンジテストにおける正答率 3 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。○ 平成 29 年度のチャレンジテストにおける正答率 8 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。○ 平成 29 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、年度当初より増加させる。○ 平成 29 年度の体力調査において、特に課題である「50m走」の平均の記録を、前年度より 0.05 ポイント向上させる。〔28 年度 男子 8.10 女子 9.02 〕	

学校の年度目標

- 中学校 3 年生での英検 3・4 級程度の英語力を有する生徒の割合を昨年度以上にする。[28 年度 92.4%]
- 平成 29 年度の体力調査における体力合計点を前年度以上にする。[28 年度 男子 41.15 女子 46.03]
- 年度末における部活動入部率を 85% 以上で維持する。

【以下 淀川区役所連携事項】

- 学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。[28 年度 「寝る」 76.2% 「起きる」 95.4%]
- 年度末校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○生徒の安全を確保するとともに、各種の運動用具・運動器具を導入し、体育大会をはじめ各種の学校行事に、室内オリンピックなどの楽しみながら体力向上をめざすことができる取組を積極的に取り入れる。</p>	
<p>指標</p> <p>体力調査において、全国平均を上回る種目を過半数にする。</p>	
<p>取組内容②【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○部活動への参加を促し、日常的な運動の機会を増加させることにより、基礎的な体力や運動能力の向上をめざす。</p>	
<p>指標</p> <p>部活動における退部者を 5% 以内に抑える。</p>	
<p>取組内容③【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○区役所の「子どもの睡眠習慣改善支援事業（ヨドネル）」とも連携を図りながら、遅刻を減らすよう日常的な生徒指導を継続して基本的生活習慣の確立をめざす。</p>	
<p>指標</p> <p>遅刻の年間実数および総数を前年度以下に抑える。[28 年度 2 月 1,596 日]</p>	

取組内容④【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

- 小中連携図書貸し出し事業の実施
- 「読み聞かせ」の実施
- 図書室開館と自主学習センター機能の充実
(以上元気アップ事業と連携)

指標

学力調査において「1日に30分以上読書をする」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。[28年度 23.8%]

取組内容⑤【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- エブリディ・ホームワークの実施
- 家庭学習の調査と各家庭における意識づけの啓発

指標

宿題の提出率を前年度以上にする [28年度 90.4%]

28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組については概ね計画通り進めることができた。その結果、生活習慣の安定が見られるようになり、ひいては読書時間や学習時間など、生徒の学習意欲は着実に向上しつつある。これらが数値としての学力に反映されるまでには今しばらくかかりそうではあるが、次年度も引き続き見通しを持って取り組んでいく。

一方で、一面的ではあるが、生徒による教員の授業力評価は停滞気味となっている。学年単位の研究授業を実施し、総合的な授業力の向上に努めてきた。

概ね計画通り進めることができた。特に今年度、正門前の校舎壁面に「いっしうけん命はかっこいい」のスローガンを横断幕として掲げ、何事にも精一杯取り組む姿勢の大切さを前面に出して指導を行ってきた。その結果、さまざまな行事で関係者の方々から賞賛をいただけるようになってきた。またその他の取組にも派生的に成果が見られ、いじめについては早期発見・早期対応に努め、少数の発生件数にとどめている。一方、学校生活のあらゆる場面で、保護者の協力を求めるとともに、地域ボランティアの獲得に取り組み、読み聞かせや自主学習の援助、園芸活動など、子どもの学習意欲の向上や心の安定に努めている。

取組は概ね計画通り進行している。体力調査などの結果も徐々に向上してきており、一応目標を達成できた。生活習慣に関しては、区役所の施策を活用するなどの連携にも力を入れつつ取り組んできたが、遅刻については、すでに昨年度の数を越えてしまっており、目標を達成できなかった。まだまだ寒冷な季節が続くこともあり、さらに数が増えることが予想されるが、1件でも少なく抑えるため、子どもへの直接的な指導とともに保護者への啓発を実施する。

29年度への改善点

組織的な教職員研修はほぼ終了した。年度が変わればまた新たな教職員を迎えることとなるが、新しい風を入れながらさらに指導力の強化に努める。例年通り、今学期は1・2年生チャレンジテストが既に実施され、結果待ちの状態であるが、新年度4月にはまた、3年生の全国学力調査が実施される。生徒の学力向上とそれを支える教職員の指導力向上にさらに尽力するとともに、次年度を見据えた授業計画の再構築を行う。

全体的には年々良い方向へ向かっているが、さらに高い目標に向け改善を図る。ただ、家庭環境など、学校だけの取組では解決できない課題も多く、次年度も引き続いて関係機関と連携し、子どもにとって学習しやすい、生活しやすい環境を整えられるよう取り組むことによって、円滑に新年度をスタートさせ、軌道に乗せるよう努める。

ヨドネルの取組が加速しており、本校においてもより高い目標に向けた取組を模索する。ただし、これらの取組は家庭の協力が不可欠ながら、今後の改善を期待する家庭も少なくない。こども相談センターや子育て支援担当とも連携を図りながら家庭の教育力の向上に可能な限り取り組む。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

◆加算配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

【様式 3 - 2】

大阪市立十三中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

学校申請額 1,362,197 円

◆学校申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	409,232					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
			952,965		1,362,197

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】

生徒の安全を確保するとともに、各種の運動用具・運動器具を導入し、体育大会をはじめ各種の学校行事に、室内オリンピックなどの楽しみながら体力向上をめざすことができる取組を積極的に取り入れる。

部活動への参加を促し、日常的な運動の機会を増加させることにより、基礎的な体力や運動能力の向上をめざす。

()

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
消耗品費	巻尺、ストップウォッチ、握力計等	409,232
校用器具費	体育館張り出し舞台	952,965

•

•

•

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

【様式 3 - 3】

大阪市立十三中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書 (補足説明資料)

本校における生徒の運動能力の現状として、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を指標としたとき、全国水準に及ばない種目が多く、とりわけ女子の結果に課題が見られる。

そこで本年は、体力・運動能力の向上を重点目標として取組を進める。具体的には以下のようない内容で教育活動を進めていく。

(文中、【 】内は校長経営戦略支援予算による支出予定)

1. 淀川区役所の「児童・生徒の体力づくり支援事業」を活用する。
 - ・プールの無料利用により、年間を通じた水泳部の活動を促進する。
【ビート版、ストップウォッチ、タイマー 等】
 - ・出前講座（ダンス・ダブルダッチ 他）を依頼し、体育館などで講師の優れた試技や、お互いの演技を見学させたりすることによって、生徒（特に女子）の運動に対する興味・関心を喚起する。
【体育館張り出し舞台】
 - ・学校体育施設開放事業において、本校生徒が所属する民間スポーツ団体もあり、学校としてもその運営に協力する。
2. 保健体育科の授業において、本校生徒の課題である瞬発力の向上を中心に運動能力の底上げを図る。
50m走や反復横跳びなどを重点項目に挙げて取り組む。
【巻尺、ラインカー、ストップウォッチ 等】
3. 部活動の活性化により、比較的運動能力の高い生徒のより一層の体力向上をめざす。
【ハンドボールゴールネット、陸上競技筋トレ用そり 等】